

事務事業評価シート

(H.30)No.	1040	(H.29)No.	1040
-----------	------	-----------	------

事務事業名	軽度生活援助事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	介護・高齢支援室	西山 正彦	

会計区分	事業コード	142201
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	軽度生活援助事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 老人福祉費	軽度生活援助事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	3	地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
日常生活上の軽度の援助が必要な単身高齢者等が、在宅での自立した生活を継続し、要介護状態に陥ることを予防することができる。

事業内容
老化等の理由により、軽度な生活上の援助が必要な65歳以上の単身者、高齢者のみの世帯を対象に家事援助及び軽作業等の援助を行う。 利用者負担は、1時間当たり500円で月4時間を利用限度とし、市の委託料は、1時間当たり425円。 事業はシルバー人材センターに委託。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
主な事業の実績・計画	・登録者数 757人 (平成30年3月現在) 425円 × 5,738時間		・425円/h × 4時間/月 × 12か月 × 150人 = 3,060千円		・425円/h × 4時間/月 × 12か月 × 150人 = 3,060千円	・425円/h × 4時間/月 × 12か月 × 150人 = 3,060千円	・425円/h × 4時間/月 × 12か月 × 150人 = 3,060千円

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		2,439千円		3,060千円	3,060千円	3,060千円	3,060千円
内訳 (千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	2,439	0	3,060	3,060	3,060
人工数	職員		0.24人	0.24人	0.24人	0.24人	0.24人
	臨時職員等		0.20人	0.22人	0.22人	0.22人	0.22人
②概算人件費	0千円	2,136千円	0千円	2,172千円	2,172千円	2,172千円	2,172千円
①+②総事業費	0千円	4,575千円	0千円	5,232千円	5,232千円	5,232千円	5,232千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
高齢者福祉サービス(介護保険外市独自サービス)として、対象高齢者等に対し適切なサービスに努め、在宅生活の継続に寄与している。平成27年10月より実施している介護保険の新しい総合事業の事業対象者は、介護予防・生活支援サービス事業(家事援助サービス事業)に一部移行している。 軽作業等は、地域支え合い活動組織が各地域で立ち上がっているが市内全域ではない。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(改善)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
市内全域で地域支え合い活動が成熟するまでは、補完的事業として継続することで、地域差なく在宅支援を行うことができる。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
名張市高齢者保健福祉計画(第7次改訂)・介護保険事業計画(第6次改訂)